

一 工場側

工場側ハ引續キ非労働組合職工三十三名ヲ以テ平常  
通作業ニ四月六日三月下半期分ノ給料ヲ支給シ相当  
能率ヲ増進セリ

二 職工側

争議団員廿一名ハ引續キ該団本部ニ集合シ東京鉄工  
組合執行委員石井菊衛ノ統制ニヨリ工場入口ノ警備  
、就業職工ノ切崩ニ従事シ居リ四月六日別記「水垣  
工場争議真相發表」ト題スル印刷物二百枚ヲ附近町  
民ニ配布シ同情ヲ水メツ、アリ  
三 友誼団ノ志操

四月六日東京鉄工組合本所第一支部及第二支部、日東  
製氷支部、中込合同労働組合第一司厨支部、紡績労働  
組合橋場支部等ヨリ約百枚名未後ニ各支部代表一  
名宛交々激励的挨拶ヲ為シメ、一歌ヲ高唱シ氣勢  
ヲ昂ゲタルモ所轄署、注意ニヨリ平穩裡ニ退散セリ  
右及申(通)報候也

別誌 水垣工場争議真相發表表

親愛なる町民諸氏  
今回我々水垣工場従業員は永い間此の偽端と極度の採取と個々の庄迫に心ならず  
し遂にストライキを決定するに至つたのである。抑々今回の争議の発端は昨年の三月水  
垣工場主の不当な解雇問題と端々及し当此我々従業員は之に附帯して即ち  
退職手当の決定他文項に及ぶ待遇改善問題と散敷したる工場主の専横に客認  
して目撃及解決したるのみならず、以来我々は和氣を以て業務に励み、只待遇問題の求  
現を待つ、あつたのみならず、然るに其後工場主は巧妙なる温床主義を以て今日決  
める期日決めんと云ふ左右にして約束を履行せざる殊竟よく約一年余に及ぶ従業員